

令和5年度 イチオシ!の ICT 活用方法

教育委員会

大多喜町教育委員会

1. 小学校の学習における活用方法 (学校名: 西小学校)

○第6学年 外国語科 Welcome to Japan

- ・プレゼンテーションソフトを使い、日本の良さを紹介するスライドを作成し、発表を行った。



2. 小学校の学習における活用方法 (学校名: 西小学校)

○第2学年 いろいろな教科で

- ・タブレットのカメラ機能、写真編集機能
- ・Microsoft Teams の投稿機能
- ・ドリルソフト
- ・プログラミングソフト
- ・自分が見つけたり、家で作ったりしたものを、友だちと共有することができた。
- ・教員が JPEG で作成したワークシートに、書き込みを行い、モニターに表示して発表する活動を行った。
- ・ドリルソフトの学習機能を使って単元の復習を行った。
- ・プログラミングソフトを使い、楽しみながらプログラミングの基礎を体験することができた。
- ・投稿機能を使いながら、低学年から情報モラルについて指導することができた。
- ・タブレットの使い方について、1年生に教える活動も行った。



3. 小学校の学習における活用方法（学校名：大多喜小学校）

第6学年 国語科 やまなし（資料「イーハトーブの夢」）

Microsoft SharePoint を使用して VR 展示会場を作成し、Sway を使用して「わたしの『やまなし』論」を展示した。自分と友達の考えを比較したり、友達の考えに共感したりしながら考えを広げ深めることができた。これにより、多面的・多角的に物事を捉えることができるようになった。



① VR 展示会場で考えを共有する

Microsoft SharePoint を活用し、VR 展示会場を作成する。VR 空間を活用することで、児童たちが自分の考えを共有し合うことができる。本実践では、Microsoft Sway で作成した、「わたしの『やまなし』論」を展示し、友達の作品を閲覧したり、自分の考えを深めたりできるようにした。



② 自分の考えを広げる

友達の作品を読み、Microsoft Forms を使って共感した点や感想などを共有し合う。回答した内容は、Microsoft Teams 内の指定したチャンネルへ自動的に投稿されるよう Microsoft Power Automate を活用し、フローを構成した。

③ 本時の学習を振り返る

自分の考えや友達の考え、友達からの感想を基に学習のまとめを行った。

多様な意見や考えに触れることができたことで、多面的・多角的に物事を捉えることができるようになった。また、自分と友達の考えを比較したり、友達の考えに共感したりしながら考えを広げ深めることができた。

4. 中学校の学習における活用方法（学校名：大多喜中学校）

「理科の授業～顕微鏡の実験における活用～」

メリット

顕微鏡の使い方を、再度、動画を見て確認する。

⇒実験・観察時間を多く取ることができる。

うまく観察することができた生徒がカメラを使って撮影する。

⇒他の生徒と情報共有をして確認することができる。うまくできない生徒の参考になる。

撮影したものを大型モニターで使って、投影する。

⇒全体で共有をして、ポイントを伝えられる。

データとして残る。

⇒時間が足りなかった生徒や休んだ生徒にも見せることができ、

後日のグループ活動にも使用できる。

